

千代田中通信

【目指す生徒像】

- 見通しをもって「こうどう」する生徒
- 自分の可能性を信じて、挑戦し続ける生徒
- 自分と千代田のなかま(学級・地域)を愛する生徒

田んぼの稲がすっきりと刈り取られ、収穫の秋と同時に冬支度へのカウントダウンが始まる時期となりました。今年度の教育活動は、大きな行事も一段落して後半の取組を進めている中で、落ち着いて学習を深めていく絶好の時期となっています。生徒一人一人が、自分の持ち味を生かしつつ、一層磨きをかけられるよう、励ましていきます。保護者や地域の皆様にも、生徒への温かい言葉かけをお願いできれば幸いです。

進路関係では、本年度より公立高校の出願手続きがWEB化されます。本番に備えて現在試行段階にあります。その他に、これまでの学校の取組や子どもたちの様子を「学校だより」としてお知らせします。

自助・共助の意識化に向けて (火災想定 of 避難訓練)

10月17日(火)

本校では、学期に1回避難訓練を実施しています。2学期は、火災を想定して、消火器訓練や救助袋訓練も合わせて行いました。

小学生の頃から毎年訓練を積み重ねていますが、大人であってもいざとなるとなかなか冷静に判断して行動することは難しいものです。「押さない、走らない、しゃべらない、戻らない」を意識して、まず自分の身を守ることを第一にしつつ、中学生には、周りにいる千代田のなかまを守るところまで、意識して「こうどう」できることが期待されます。

東日本大震災の教訓として「釜石の奇跡」が語り継がれています。【いざという時に落ち着いて！】地震・津波という大災害を目の当たりにした東北地方の人々の体験は、他人事ではありません。訓練後の生徒の感想にも「万が一火災が発生した時には、最低限自分たちが率先して動き出したいです」という記述がありました。「助けられる人から助ける人へ」「どう行動すればよいか自分で考えられる人へ」学校での学びを地域でも実践できるように、今後も働きかけていけたらと考えます。



「ひまわり」の輪を後々まで (環境委員による種の採取)

10月3日(火)

来年度から新制服が導入されます。制服であるブレザーには、各中学校別にワッペンがつけますが、本校では、「ひまわり」と「鳩」をあしらったデザインのワッペンが採用されます。

学校の校舎南の細長い花壇には、今年もひまわりが一行に咲き誇りました。環境委員会の活動を中心に、地域ボランティアの方々のお世話もいただき、千代田のシンボルとしての存在感を示していました。次年度へのバトンタッチとして、種の採取を行いました。

ひまわりへの水やりなど世話をしてきた環境委員の生徒からは、【来年も笑顔の花を咲かせてね】「春に植えた種がここまで大きくなって嬉しい」「採取したこの種が来年も花を咲かせてくれるといいな」といった感想を聞くことができました。本年度の生徒会スローガンも「ひまわり」ということで、千代田中学校の生徒が、「ひまわり」のように笑顔で、情熱をもって、周りを幸せにできるような意識して生活を送ることができていることを実感しました。今後も中学生としてできることを考え「こうどう」していけるよう働きかけていきます。



「千代田の絆」をより強く! (夏まつり準備ボランティア)

4年ぶりに開催された夏まつり。まつりの準備・後片付けとして、8月4日～6日に、中学生が提灯の取り付けや本部の設営などに、ボランティアとして参加しました。3日間のボランティアで、のべ71名の生徒が参加しました。地域住民の一員として自分で「こうどう」することを見つけて率先して動けたことが素晴らしかったです。

本校では、「見通しをもって『こうどう』する生徒」を掲げています。今後も周囲の状況をよく見て、仲間のために気付いたらすぐ行動に移せる姿が随所に見られるよう支援していきます。



【向日葵に見守られ、頑張るぞ！】